



全日畜だより

第 56 号

2023 年 3 月 30 日

<https://www.alpa.or.jp/>

令和 4 年度第 4 回理事会を開催

**** 令和 5 年度事業計画・予算を決定しました ****



(役員の皆さん)

- ◎ 開催日時: 令和5年3月22日(水)(13:30~15:30)
- ◎ 開催場所: 機械振興会館(東京都港区)
- ◎ 金子理事長以下6名(過半数以上)の理事及び監事1名が出席し、理事会が成立。
- ◎ 主な内容は、**令和4年度の事業実施状況の報告、令和5年度 of 事業計画及び収支予算、第八期社員選挙、第15回定時社員総会**などで、活発な議論がなされ、承認及び議決されました。
- ◎ 概 要
 - 1. 令和4年度の事業実施状況報告については、以下のことを報告し、了承されました。
 - ・ 令和4年度は、with コロナを基本に、ワークショップ、シンポジウムなどが全て集会型で実施できたことなど、実施した事業の主な項目とその概要を報告しました。
 - ・ JRA 畜産振興事業「農畜連携による畜産経営の強化調査事業」(農畜連携事業)については、本年度で事業を終了し、2月に第3回の事業推進委員会を開催して、2年度にわたる事業の実績を検証し、自己評価案については、委員からも事業内容が高く評価されたことから、自己評価案は上方修正されたことを報告しました。
 - ・ 同じくJRA事業の「多角による畜産経営強化調査事業」(多角化事業)については、3月に事業推進委員会を開催して、2月2日に山口で開催したワークショップの概要と4年度の実績を説明するとともに、令和5年度の事業実施計画を説明し了承を得たことを報告しました。

- ・ 予算の執行状況等については、畜産振興事業ではwithコロナ対応で活動が活発になったこと、セキュリティ対策を強化したことなどを報告しました。

2, 令和5年度の事業計画及び収支予算については、以下の計画を説明し、議決されました。

- ・ 事業計画については、新型コロナウイルス感染症により、国民生活様式は大きく変わり、コロナ以前の戻るのではなく、新たなポストコロナの生活様式に移っていくと考えること、また、これまでに経験したことのない畜産経営の危機に直面しており、これらに対応するために、まず、状況を正しく捉えて、早期に課題を認識し、それらの情報を商系畜産経営者と共有し、これらの問題に対する対応策を考えて、畜産振興事業等を活用して会員の経営の改善、発展に取り組むこととしました。具体的には、JRAの補助事業の活用、HPの充実、報道機関への積極的な情報提供、工業会、全日基、地方全日畜との連携強化に努めることとしました。
- ・ 予算計画については、上記の活動を適宜適切に執行できるような内容としました。

3, 第八期社員選挙については、

- ・ 選挙区分の議席数は15日の運営委員会で前回と同数とすることが決定されました。
- ・ 日程は、選挙公示5月10日から5月31日まで、立候補受付は5月19日から5月31日までとして、当選者は、総会日に選挙管理委員長から理事長に報告されます。
- ・ 選挙管理委員は2名が理事長から任命されました。

4, 第15回定時社員総会について

- ・ 日時: 6月15日(木)午後1時からを予定
- ・ 場所: 機械振興会館
- ・ 総会終了後、「家畜飼養指針について(アニマルウェルフェア)」をテーマとした講演会を予定

◎ 理事の意見の概要

4, 第15回総会について

- ・ 事業実施状況については、コロナ禍にもかかわらず高く評価できるとの意見がありました。
- ・ 一方、今後の情勢は、

今年の10月から発効するインボイス制度に対応できない零細肉牛生産者がこれを機会に経営をやめて、一気に減少する恐れがある。

酪農はさらに厳しく、仲間がやめていき、周囲の経営者は疲弊している。

養豚も、資材価格の上昇に見合った枝肉価格の上昇が見られず、経営の先行きが見えない。

また、豚熱発生時に、ワクチン接種済みの豚まですべて殺処分は経営に大打撃を与える。鶏も同様で、法改正は大変であるが、改善検討してほしい。

配合飼料価格補填金が、県単補助に差があり、地域により不公平感が大きいので、それらの実態を調査し、その情報提供を望む。

などの意見が出されました。

令和4年度第4回運営委員会を開催



(機械振興会館会議室に出席した運営委員、オブザーバー、事務局)

- ◎ 開催日時: 令和5年3月15日(金)
(13:30~15:30)
- ◎ 開催方式: 機械振興会館
WEB(ZOOM)併用方式
- ◎ 出席者: 本人会場出席5名、代理会場出席2名
本人Web出席5名で全員出席。



(Web参加の運営委員)

◎ 議事概要

- ・ 今回から、WEB併用方式で対応することになりました。
- ・ 第4回理事会提出議題を主に説明し、検討されました。
- ・ 主な議事内容は**令和4年度の事業実施状況の報告、令和5年度の事業計画及び収支予算、第八期社員選挙、第15回総会**などの議案を説明しました。
- ・ 令和4年度の事業実施状況では、今年度事業が終了するJRA農畜連携事業での自己評価について高く評価されました。
- ・ 令和5年度の事業計画及び収支予算については、提案どおり了承されました。
- ・ 第八期社員選挙については、選挙管理規程により、社員の定数、選挙区ごとの社員数を前回と同じとすることで議決されました。また、選挙管理委員の推薦も行われました。
- ・ 最後に、各委員からは、コロナ禍での活動に対して高く評価すること。生産者のための委員会であり、今後とも運営に協力したいこと。国の補助金等の多くが系統農協に流れてしまっているが、もっと商系生産者への額を増額できるようにするためには、全日畜の活動が重要になること。JRA新規事業の畜産経営危機克服・維持のための実態緊急調査事業」には生産者に役立つものであり、期待したい。畜産経営者にとって必要な事業とは何かを常に考えて行動してきた。運営委員会で得た全日畜活動の情報は社内での情報供給に努めている。等の意見が出ました。

(文中での団体の略称標記について)

- 全日畜：一般社団法人 全日本畜産経営者協会 ●全日基：一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金
- 工業会：協同組合 日本飼料工業会 ●〇〇県基金協会：一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会